



公害計測器

「2020年工業統計調査」の結果、京都府が製造品出荷額全国1位の製品としてちりめん類や和生菓子などがありますが、その中の1つである公害計測器について取り上げてみました。

(表1)

公害を防ぐためには、公害の原因物質を的確に計測し継続することが必要であり、公害計測器が使われています。

また、分析に使用される「その他の分析装置」の製造品出荷額も京都府が全国1位です。

(表2)

大気汚染の指標の一つである二酸化窒素の京都府の年平均値は、以前に比べて減少していますが(図1)、現在においても生産活動や消費活動の結果、さまざまな排出物や廃棄物が生み出されています。

よりよい世界の実現を目指す国際目標として、国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)の中には、環境上の悪影響を軽減するというターゲットもあります。

地球環境を守るためにも、普段から環境問題について意識し、SDGs達成に向けて、できることから取り組んでみてはいかがでしょうか？

表1 公害計測器の製造品出荷額(全国上位)

順位	都道府県	出荷額(百万円)		
		2018年	2019年	2020年
1	京都府	9,613	10,237	10,149
2	東京都	6,834	7,133	6,681
3	埼玉県	3,459	5,528	3,677
	全国	27,881	30,972	27,917

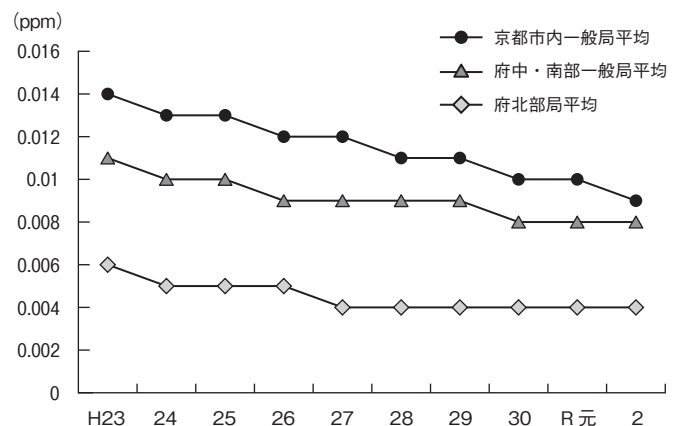
出典：経済産業省 工業統計調査(従業者数4人以上)

表2 その他の分析装置の製造品出荷額(全国上位)

順位	都道府県	出荷額(百万円)		
		2018年	2019年	2020年
1	京都府	56,889	53,345	53,421
2	東京都	22,179	32,166	22,730
3	茨城県	7,848	9,237	9,443
	全国	109,572	118,636	111,090

出典：経済産業省 工業統計調査(従業者数4人以上)

図1 京都府の二酸化窒素年平均値の経年変化



出典：京都府府民環境部 大気汚染の状況